

二宮町町民活動推進委員会 第4回議事録

日 時：平成31年2月22日（金） 18：30～20：20

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長・岡本委員・齋藤委員・高橋委員・伊達委員
豊田委員・山岡委員・黒石委員

欠席者：なし

事務局：地域政策課2名 まちづくり推進員1名

傍聴者：0名

会議概要

1. 開 会

2. あいさつ

今日は暖かく過ごしやすかったが、寒の戻りもあると思う。花粉も飛び始めたので、体調には気をつけていただきたい。

先月の末に、不要な株主優待が証券会社に戻される場合、日本証券業協会がその株主優待を NPO 団体などに寄付する仕組みを作り出すニュースが日本経済新聞に掲載されていた。

休眠預金について常に話しているが、1月に日本経済団体連合会が作成した指定活用団体が決定した。経済界が社会的な関係に着目をし始めてきており、部分的ではなく全体的に取り組む動きが少しずつ出てきている。COOL CHOICE（クールチョイス）は、2030年までの国民運動だが、それと同時に SDGs（持続可能な開発目標）にも動きがあり、企業は相当取り組んでいる。NPO や行政も様々な取り組みをしているが、対外的な動きが進まない。勉強会等を始めると活動の弾みになる。様々な活動が、新聞の隅に掲載されているので、着目していただきたい。

3. 平成31年度二宮町町民活動推進補助金交付対象団体の選考及び補助金額の調整について （諮問）

【諮問書を読み上げる】

4. 議題

（1）平成30年度二宮町町民活動推進補助金交付団体活動報告会について

【二宮町町民活動推進補助金交付団体活動報告会について事務局より説明】

（委員）活動展示及び参加通知依頼団体について、参加しない団体はあるか。

(事務局) 依頼なので、参加しない団体はあると思う。活動展示の依頼に併せて、ワークショップについて団体へ通知する。

(委員長) ワークショップという文言だと、町民活動団体にとってハードルが上がる。意見交換会という文言が良いのではないか。

(委員) 意見交換会という文言もかたい。

(委員) ワークショップという文言について、町民は知っているか。

(委員) 耳にしたことがあるレベルではないか。

(事務局) 資料に「二宮町民活動フェス」と記載している。「二宮町民活動フェス」の表題で団体に通知をし、詳細の欄に内容を記載するというところでよろしいか。

【全委員了承】

(委員) 活動展示及び参加通知依頼団体は、展示するだけで報告はしないのか。また、各団体について議論されることはないか。

(事務局) 前半の町民活動報告会の報告団体は、平成 30 年度に補助金を受けた団体である。後半のワークショップでは、参加者自身の町民活動における課題等をグルーピングしていただく。

(委員長) 展示をするだけの団体がいてもよいのか。

(事務局) 展示とワークショップをセットで考えている。展示だけの団体は考えていない。

(委員) 活動報告をする団体は 4 団体、活動展示をする団体は 5 年以内に本補助金を受けている 7 団体か。

(事務局) 活動報告をする団体は 4 団体である。活動展示は、活動報告をする 4 団体、本補助金を 5 年以内に受けている 7 団体に加え、サポートセンター交流コーナー登録団体の約 30 団体に通知をする。

(委員) ワークショップでは、4 団体の活動報告について討議をするのか。

(委員長) 4 団体に限らず、二宮の町民活動について参加者で意見を出し合う。

(委員) ワークショップで自身の町民活動団体について話してもよいのか。

(委員長) 話してもよい。

(委員) 団体によって経験が異なるので、発言が参加者によって異なる。

(委員長) 例えば、町民活動を始めたが、どこで活動するべきかわからないという意見に対して、町民センターのロビーで話し合いができることや、ラディアンを借りると便利等の意見が出てくるのが望ましい。

(委員) 経験豊富な参加者が、グループの中で独占的に話したりすることはないのか。

(委員長) 時間を決めたり、付箋を使ったりするため、1 人が長く話すことはない。

(委員) 50 名募集ということで、様々な経験を持った参加者を集めることができるのか。

(事務局) 参加依頼をする団体は 40 を超えるので様々な参加者が集まることが予想される。

(委員) チラシの町民活動報告会をする団体について、補助金交付に対する活動報告であることがわかるように、補助金交付団体と記載するべきである。

(2) 平成 30 年度二宮町町民活動推進補助金交付団体の活動現場確認報告及び確認について

【にのみや子ども自然塾 10月23日(火)】

(事務局) 0歳から就学前の子どもと保護者が自然豊かな野外で遊びながら過ごす「さとっこ」を確認した。就学前児童の参加が多く、就学児童の参加は少ない状況であった。就学前児童を遊ばせる場所が少ない中で親子がのんびり過ごせる空間となっていた。

(委員) 二宮町だからこそ残っている自然の中で、遊んでいる子どもたちの姿を見学した。見学した「さとっこ」は同団体で行っている「冒険遊び場」など、年齢を重ねるごとに様々な活動に繋がっていく活動である。

【にのみや地域ねこの会 10月24日(水)】

(事務局) 動物病院にて、去勢手術をしている猫の状況を整理したカルテ及び「チャと仲間たち」という活動の内容をまとめた本を読み、その後、野良猫ではなく、「地域ねこ」として飼われている2匹の猫を確認した。以前、野良猫だったとは思えないほど、地域の方に懐いていた。

(委員) 去勢や避妊のための経費等を全て動物病院が負担している。継続性に課題があると感じた。

【まちづくり工房「しお風」 11月24日(土)】

(事務局) walkwalk 地域探検ツアーを確認した。湘南軽便鉄道本社跡や東大果樹園跡地の見学など、各スポットの歴史や現在の状況などを説明しながら歩き、二宮町の資産や歴史を情報発信するツアーとなっていたことを確認した。

(委員) 20名ほどの参加者がいたが、大半が町外の方であった。二宮町に見学すべき文化財があることを知った。散策ツアーで使用したテキストも参加者から非常に好評で、二宮町の魅力を発信できる活動であった。

【以降、補助金審査に関する内容のため非公開】

(3) 平成 31 年度二宮町町民活動推進補助金スタート支援書類審査について

(4) 平成 31 年度二宮町町民活動推進補助金ステップアップ支援第1次審査について

(5) 平成 31 年度二宮町町民活動推進補助金ステップアップ支援第2次審査について

(6) その他

5. 閉会

次回開催 公開プレゼンテーション：3月10日（日）13時30分～町民センター2A クラブ室
町民活動フェス：5月19日（日）13時30分～町民センター2A クラブ室